

11月



新羽小だより

令和4年(2022年)10月31日

第582号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa>



「優しい心」

副校長 浅川 聡子

「おはようございます！」朝8時5分、昇降口の扉を開けたとたんに、元気のよい声が飛び込んできます。2列に並び、健康観察票で体温を先生に確認してもらい、校舎に入ります。その際にいつも感心することが、3つあります。

まず、自分から挨拶できる子がとても多いということ。また、うっかりあいさつをし忘れた子も、声をかけると必ず返していること。

次に、健康観察票を出すときに、先生が見やすいように工夫していること。ケースの上から指で指し示したり、ケースから取り出して、折り曲げて今日の日付を見やすくしたりと様々ですが、それぞれ自分のやり方で先生が見やすいように提示しています。

3つめが、前に並んでいる友達が、健康観察票を出すのに戸惑ってしまったり、後ろに並ぶ友達が、自分より先に入ってしまうことがまれにあるのですが、そのような時にも怒ったり、文句を言ったりしないことです。新羽の子たちは本当に優しい。当たり前のことのようですが、この姿がとても尊いものに思えるのです。

日々学校ではいろいろな出来事が起こります。些細な出来事にも、関わる子どもたちにはそれぞれ事情があり、思いがあります。すっきりとした解決には至らないこともある中で、他者と関わり、様々な出来事を体験することを通して、子どもたちは相手の立場に立って物事を考え、解決していくための方法を学び、優しい心を成長させていきます。

10月4日に「港北区後期人権教育推進協議会」が、新羽小・中学校で行われました。「児童・生徒一人ひとりの良さを認めて伸ばす授業の推進」をテーマに、港北区小中の教員が人権尊重の精神に基づく授業づくりについて考える会です。今以上に子ども一人ひとりの良さを発揮させるためにはどうしたらよいのか、お互いを認め合う場をどのように設けていけばよいのかなど、子どもたちの優しい心を育てる授業づくりについて考えを深めることができました。



新羽小では人と豊かに関わる活動として、ペア学年による「なかよし交流」を行っています。そのメインイベントである「なかよし遠足」が28日に行われました。異学年間のふれあいを通してお互いを思いやり、仲間と楽しい時間を過ごす喜び、PTA ボランティアさんや地域の方に感謝する思いなど、体はもちろん心もたくさん動かししました。今後もペア学年による活動が予定されています。様々な授業や活動の中で、子どもたちの「優しい心」が豊かに育っていくことを願っています。